

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	flapあさがお			
○保護者評価実施期間	R 7 年 1 1 月 1 日 ～ R 7 年 1 1 月 1 5 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 3 人	(回答者数)	1 6 人
○従業者評価実施期間	R 7 年 1 1 月 1 日 ～ R 7 年 1 1 月 1 5 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 人	(回答者数)	8 人
○事業者向け自己評価表作成日	R 7 年 1 1 月 2 5 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学年、個人の持つ力を考え、将来に向けた活動（パソコン学習・作業訓練）を取り入れている。	年齢により社会で必要な作業や挨拶・マナーなど先を見ての訓練、将来の職業を考える時の強みになるよう指導している。	職員自身のスキルアップを測り、年齢に応じた活動支援ができるようにしていく。
2	活動スペースが広い。	2つの部屋があり、活動内容によって部屋の使い分けができる。 スペースが広い為、子どもたちが伸び伸びと活動できる。	活動の幅。
3	学校や保護者との情報交換ができている。	モニタリングや送迎時はもちろん、お茶会時、保護者さんに各職員から支援内容（進め方・進み具合）についてお話。	交流できる機会を増やせれる行事内容を検討していく。 学校訪問（見学）をさせていただき、学校で取り組んでいる活動や先生方の指導の仕方を教えていただき、学校とずれのない指導をしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の認識、知識不足。 PT・OT・STがない。	保育士・児童指導員・介護福祉士を配置し、支援をしている。	職員研修や話し合い、支援に必要な知識の向上を図る。
2	強みになっている活動スペースが広い	子どもたちは、広いから伸び伸び活動しているが、見守る範囲が広がるので、トラブルが増えてしまう。	職員間での声掛けや周りの状況把握をしっかりとていき、見守りがおろそかにならないようしていく。また、見守りが出来ない部屋での活動は一時的に活動を中止していく。
3	職員と子どもが仲が良い	仲が良い分、「ゆるしてもらえらる」的なところがある。	ルールや話し方の指導を統一し、同じ指導方法と関わり方を実施していく。